

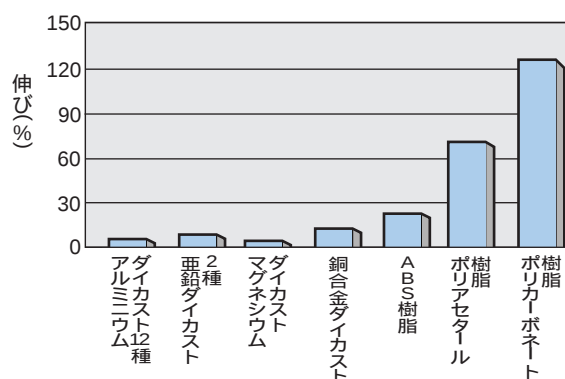
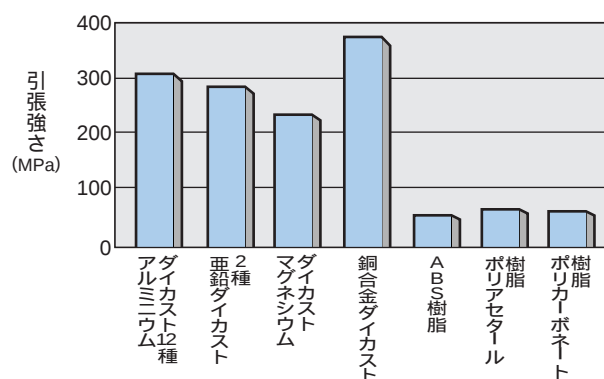
機械加工品との比較

ダイカストの利点	機械加工品の利点
1.複雑な形状のものも、一工程で作れる。 2.加工による切り粉の発生が少ない。 3.複雑な形状でも生産速度が速い。 4.溶解して材料の再利用ができる。	1.単純な形状では生産速度が非常に速い。 2.小ロット製品の生産に向いている。 3.ダイカストできない材料も加工でき、寸法精度が高い。

押出型材との比較

ダイカストの利点	押出型材の利点
1.複雑な形状のものができる。 2.二次加工が少なくすむ。 3.薄肉部品を作ることができる。	1.金型費が安い。 2.アルマイト、封孔処理、クリアー塗装など簡単な処理で耐食性を持たせることができる。 3.押出型材の価格は安い。

プラスチック成形品との比較 (DCS M及び日本規格協会資料による)



ダイカストの利点	プラスチック成形品の利点
1.材料のリサイクルが容易である。 2.耐熱性に優れ、燃えない。 3.機械的性質に優れ、薄肉にできる。 4.高級品のイメージがある。 5.重さを必要とするものに使え、感触が良い。 6.寸法安定性に優れ経年変化がない。 7.精密機械加工ができる。 8.電磁波を遮断できる。 9.光を透過しない。 10.熱伝導率が大で、放熱性が良い。 11.耐候性に優れている。	1.一般に体積当りの原材料費が安い。 2.着色や透明にできる。 3.大きな変形に耐える。 4.軽量である。 5.成形性に優れ、形状の自由度が高い。 6.耐食性に優れている。 7.仕上コストが安い。